

法
71

古澤郵務局長及草間爲替貯金管理所長ノ演說

付同局長ノ談話

301044-000-0

法-71

古澤郵務局長及草間爲替貯金管理所長ノ演說

小松島郵便電信局

M26.1

BDF-0008

|||||



法-71

19205/XXVII



古澤郵務局長ノ演説

今回當地方ヲ巡廻スルニツイテハ當監督局長ノ通知ニ
 今日カクノ如ク諸君ノ來集ヲ得タルハ寔ニ本懐ノ至ナリ
 借テ各地方ノ三等局長諸君ニ面會シテ郵務上ノ談話ヲ爲サ
 トスル要項ハ出發前其大意ヲ記シテ黑田遞信大臣ノ許可ヲ得
 然レ後述ノ途ニ上リタル次第ナレハ今日ノ談話ハ唯郵務局
 長ニ已メ考案ニアラストシテ聽取ラレシコト望ム
 抑郵便事業ノ開設以來既ニ廿餘年ヲ經テ今ヤ其事業上郵便ノ
 物數其他ノ事柄共ニ意外ノ進歩發達ヲナセリ然レドモ政府ガ
 此郵務事業ヲ執行フニ當リテ何等ノ主義ニ依ルヤハ未ダ嘗テ
 斷定セザリシ所ナリ故ニ此際諸君ニ向ツテ之ヲ明示スルコト
 最モ必要ナリト信ス願ミルニ我國ノ郵便條例ハ主トシテ米國
 ノ郵便條例ニ據リテ編制セラレタルモノニシテ彼米國ハ共和
 政體ノ國柄ナリ加フルニ今ヨリ十四五年前マテ歐米各國ニ行
 ハレタル政治竝ニ經濟上ノ學說ハ專ラ自由主義即チ英國ノ「マ
 シチエスター」學派ノ說ニ因ルモノニシテ重ニ經濟上ニ適用セ



ラレ極メテ政府ノ干涉ヲ嫌忌セリ即チ政府が行フヘキ仕事ノ
範圍ヲ縮少シテ出來得ルタケ事業ヲ民間ニ移スヘシト云フノ
主義ナリシソレ既ニ如斯主義ニ本ツキ如斯共和國ニ行ハル、
條例ヲ移シ來リシモノナルガ故ニ我邦ノ郵便條例ハ間々其主
義ヲ含メル所ナキ能ハサルヘシ乍併此郵便事業タル政府が當
然行フヘキ性質ノモノナルヲ以テ我政府ハ今ヤ現ニ其意ニ依
リテ執行シツ、アルナリ然レトモ其事業ハ民間ニ移スヲ當然
トスルモ都合若クハ便利若クハ營利ノ目的ヨリ政府ハ取リテ
之ヲ行フモノナル乎將タ然ラサル乎ノ區別未ダ嘗テ分明ナラ
ザリシ然ルニ此郵務事業ノ如キハ實ニ廣大ノ事業ニシテ其大
事業ヲ行フニ大體ノ主義定マラサルニ於テハ其影響決シテ渺
シトセス故ニ本年一月後藤前遞信大臣が各一等局長ヲ召集セ
ラレシ時此交通事業ハ實ニ國家的業務ナルコトヲ宣言セラレ
タリ故ニ監督局長モ亦其旨趣ヲ以テ諸君ニ傳ヘラレタルナラ
シ而シテ此交通事業ヲ國家的業務ナリト謂フハ實ニ僅々十年以
來歐洲大陸ニ起リシ說ニ本ツクモノニシテ其政治若クハ經濟

上ノ新說ニヨレハ總テノ事業中ニハ之ヲ民間ノ一個人又ハ會
社ニ放任シテ行ハシムルヲ可トスルモノト然ラサルモノトア
リテ其決シテ競争ニ放任スヘカラサル事業トハ即チ所謂交通
業務ノ如キ是ナリ今此業務ヲ廣言スレハ郵便電信ハ勿論鐵道
若クハ重ナル航路ヲ有スル汽船ノ交通モ亦此ニ包含スト雖モ
今茲ニ述フル所ハ唯一ノ郵務上ニ限ルコト、シテ聽取ラレタ
シサテ何が故ニ此郵務事業ヲ民間ノ一個人若クハ會社ニ行ハ
シムルコトヲ得サルカナレハ如斯事業ハ最モ等一ニ。正確ニ。平
均ニ行ハサルヘカラサレハナリ故ニ若シ之ヲ一個人若クハ一
會社ニ放任センカ是等ハ皆營利的即チ利益ノ多少ヲ目的トス
ル者ナレハ今例之山間ノ地ニ於テ郵便事業ヲ開カントスルモ
其收支相償ハサルカタメニ遂ニ開カレサルヘク又茲ニ一ノ得
意アリテ常ニ信書ノ往復頻繁ナランニハ必スヤ之ニ對スル情
義ヨリシテ割引スルカ如キノ事實ヲ生セン是實ニ等一ニ。正確
ニ。平均ニ行フコトヲ得サル實例ナリトス然ルニ此郵務事業ノ
如キハ實ニ一般人民ノ利益ヲ平等ニ保護スルヲ以テ目的トス

ルヲ要スルガ故ニ決シテ民間ノ一個人若クハ會社ニ放任スヘキモノニアラス隨テ國家自ラ之ヲ執ルヘキモノト斷定セルナリ後藤前遞信大臣カ農ニ交通事業ハ國家的業務ナリト宣言セテレシハ全ク此主義ニ本ツキシモノニシテ遞信省ハ益此主義ヲ明カニシ依テ以テ實地ニ行ヒツ、アルガ故ニ諸君モ此點ハ切ニ服膺アラソコトヲ望ム

借テ又茲ニ至リテ此郵便事業ヲ便利若クハ都合若クハ營利ノ目的ヲ以テスルト國家的業務トシテ行フトハ如何ナル差違アルヤノ事實ヲ卑近ニ求ムレハ例之或ル民設ノ郵便局ニ於テ單獨ノ貯金ヲ開カントスルニ其局タル從前爲替取扱ヲ爲サ、リシカ故ニ今爰ニ單獨ノ貯金ヲ開クハ收支相償ハサルヲ以テ必ス之ヲ設ケサルヘシ然レトモ今之ヲ國家的業務トシテ行フ以上ハダトヘ其局ニハ爲替取扱ヲ開ク必要ナキモ單獨ノ貯金ヲ開設スル必要アレハ其收支ノ如何ニ依テ以テ開否ヲ決スルコトナク直ニ之レヲ開設スヘシ故ニ國家的業務トシテ行フ時ハ交通事業ノ基本最モ鞏固ニ成行クモノトス此レヲ以テ政府ハ

現今並ニ將來共ニ此主義ヲ以テ着々實行スヘケレハ諸君モ亦善ク此旨ヲ體シテ其事業ノ枝末ニマテ其旨趣ノ貫通セソコトヲ勉メサルヘカラス

次ニ將來郵務上如何ナル事業ヲ開設スル乎ノ一條ヲ述ヘン諸君モ承知ノ如ク今ノ郵便事業ハ信書郵便ニテ成立セリ即チ郵便條例第一條ノ第一種、第二種、第三種、第四種ト掲ケタルモノ是等ハ悉ク一般信書ノ内ニ置キ之ニ附加シテ彼爲替貯金ノ事業アルヤリ然ルニ本年五月ニ至リテ小包郵便ノ法案ヲ提出セラレシニ兩院ハ速ニ之ヲ通過シ政府ハ 陛下ノ裁可ヲ得テ本年六月之ヲ發布セラレタリ此ニ於テ始メテ郵便ノ事業上ニ物品ノ取扱ヲ加ヘタリ抑此小包郵便ハ序ニ述フルナリ大ニ民間ニ便利ヲ與フルガ故ニ之ヲ開設スルコトハ何レモ深ク希望シ且ツ遞信省ニ於テハ疾ニ注意セシ所ナリ然ルニ今日マテ行ハレサリシハ全ク最初ニ述ヘタル郵便事業ハ彌如何ナル主義ニ依リテ行フヤノ事未タ極定シ居ラサリシ結果ナリトス隨テ小包郵便ヲ開クハ民間ノ事業ト競争スルコト理勢ノ當然ナルカ

故ニ彼通運會社若クハ郵船會社等ニテ取扱ヘル小包運送ノ利益ヲ奪フノ恐ナキヤト區々タル會社ノ利益ヲ懸念シテ爲ニ一般人民ノ利益ヲ後ニシ遂ニ今日ニ遷延シタルナリ然レトモ遞信省ニ於テ郵便事業ヲ國家的業務トシテ行フニ決シタル以上ハ是等ノ事情ニ順着セスシテ斯ノ如ク議會ニ提出セリ而シテ議會モ亦其有益ノ事業タルヲ視認シテ兩院共ニ一ノ異議者ナク速ニ之ヲ通過シタリ……尙ホ(是モ序ニ)小包郵便法ノ發布セラレシ當時政府ハ可成速ニ全國ニ行フ目的ヲ立テ十月一日ヨリ廿六年一月マテニハ全國内ニ二百餘ノ小包郵便ヲ開ク豫定ニテ其經費ハ豫備費ニ仰ク積ナリシカ本年ハ不幸ニモ昨年十二月ノ議會解散ノタメニ豫算不成立トナリシヲ以テ各省ヨリモ豫備費ニ向ツテ請求スル經費多クタメニ獨リ遞信省カ此小包郵便ノ經費ヲ充分ニ請求スルコトヲ得スシテ結局僅ニ五萬圓ヲ得タルニ過キス故ニ無餘儀十月ヨリハ唯東京市内タケ小包郵便ヲ開ケリ然レトモ其残りノ經費ハ追加豫算トシテ第四期議會ノ協賛ヲ求メ其手續ヲ了ヘ次第出來得ルタケ速ニ全國

ニ開設シテ廿六年度内ニハ必ス三百餘局ニ向テ設クル豫定ナリトス尙ホ(念ノタメニ)此追加豫算トシテ議會ノ協賛ヲ求メシニハ今ヤ議會ハ經費節減ノ主張セラル、場合ナルカ故ニ或ハ此追加豫算モ不成立ニ至ルナキヤ又妄ニ削減セラレテ悉ク開設シ能ハサルトナキ乎ノ懸念是有ルヘシト雖モ是等ハ憲法六十七條ノ法律ノ結果ニ依ルノ歳出ニシテ此歳出ハ議會ト雖モ政府ノ同意ナクシテ廢除削減スルコトヲ得サルカ故ニ若シ不幸ニモ議會カ協賛セスシテ不成立トナリシ場合ニハ此經費ハ同時ニ自ラ成立スルモノトス故ニ追加豫算トシテ議會ニ提出シタル時ハ直ニ通過セルモノト豫メ想像有リテ可ナリ故ニ小包郵便ヲ開設スル取扱局ハ大凡圖面ヲ以テ監督局長ニ廻付シアレハ本年開設ニ當ル局長ハ既ニ承知シ居ラルヘケレハ可成今日ヨリ是カ準備ヲ爲スヲ要ス却說如前述本年小包郵便法ヲ公布セラレテヨリ始メテ郵務上ニ物品取扱ヲ附加シタルナリ而シテ今之ニ續イテ更ニ施行スヘキ其種類……諸君モ承知アル如ク信書郵便ハ年々其物數等

ノ増加スルコト極メテ大ニシテ可驚進歩ヲナシツ、アリト雖モ將來新ニ附加スヘキ種類ハ餘リニは無カルヘシ尤遞信省ハ端書ノ内ニ一ノ別種ヲ設ケントスルモ是亦信書ノ定位内ニ在レハ敢テ別ニ附加スヘキ種類アラサルカ故ニ後來施設スヘキハ主トシテ物品及ヒ金錢ノ取扱ニ關ス即チ小包郵便ニ續イテ第一ニ施設スルハ代金取立法ナリ此法タル例之或ル郡村ヨリ廣島ノ或ル商店ニ一ノ物品ヲ注文スル時……タトヘハ一個拾五錢ヨリ二拾錢マテノ土瓶ヲ送ルヘシト注文シ商店ハ其注文者ニ向ヒ小包郵便ニ依リテ其品ヲ送付セリ此時配達局ハ配達夫ニ持タセ遣リテ此土瓶ハ某商店ヨリ送り來レリ之ニテ合意セハ代金ト引換フヘシト言渡シ且ツ注文者之ヲ諾スレハ代金ヲ拂ハシメ更ニ受取局ヨリ商店ヘ向ケテ其代金ヲ送付スルノ仕組ナリ尤此法ハ小包郵便ト同時ニ開カサレバ其便利ヲ得ルコト多カラス故ニ此法ヲ開設スレハ管ニ小包郵便ノ利益ヲ増進スルノミナラス一般ノ商業取引上不尠利益ヲ得ルコト明カナルカ故ニ第一ニ之ヲ施行セントス

第二ニハ爲替金ノ配達此ハ振出人ノ望ニヨリテ配達夫ニ現金ヲ持タセ直ニ配達スルノ仕組ナリ

第三ニハ切手貯金此ハ一定ノ式紙ヲ拵ヘ置キテ其ヘ別種ノ切手即チ一錢。二錢。三錢等。少額ナル切手ヲ貼付シ之ヲ取扱局ニ持行キ現行法ニテ謂ハ、十錢ノ制限ニ達シタルトキ初メテ貯金通帳ニ引換フルノ仕組ナリ是モ彼婦女。老人。及ヒ少年其他貯金ヲ大層ニ思取リ又ハ便利ヲ得サル者等ニ大ニ便利ヲ與フヘシト考フルカ故ニ調査ヲ終ヘテハ速ニ之ヲ施行スヘシ

乍併此所ニ諸君ノ注意ヲ惹クヘキハ世間或ハ此切手貯金ヲ以テ彼學校貯金ト混淆セシト是也尤歐洲各國ニ於テハ此切手貯金ハ學校兒童ニ貯金ヲ獎勵セシカタメニ現ニ之ヲ行ヘリ然レトモ日本今日ノ有様ニテハ切手貯金ヲ行フノ曉彼學校兒童ノ貯金ヲ獎勵スルノ目的ヨリ行フモノナリト誤想スル者アラソニハ大ニ施行ノ目的ヲ誤マルニ至ル其故何ナレハ今日彼學校費用ノ事ニツイテハ町村ニ於テ隨分苦情アル事實ニシテ殊ニ小民漁民ニ至リテハ一本ノ筆十枚ノ紙之ヲ買求ムルサヘ重

キ負擔ト思ヘル場合アリ然ルニ今切手貯金ハ學校貯金ナリト
誤想シ又ハ教員ヨリ之ヲ強フルカ如キアヲハ中等以上ノ父
兄ユツ其子弟カ一二錢ノ金ヲ請求シタレハトテ少シノ痛痒ヲ
モ感セサルヘシト雖モ彼等小民ニ至リテハ非常ニ迷惑ヲ感ス
ル場合アルカ故ニ其一般ノ利便殊ニ小民ノ利便ヲ豫期セシモ
ノモ却テ大ニ齟齬スルノ恐アルヲ以テ切手貯金ノ行ハル、場
合ニハ宜シク注意シテ町村長ヨリ教員ニ向ヒ生徒ノ貯金ヲ強
ヒシムルカ如キコトアラシムヘカラス唯、教員ヲシテ貯金ハカ
クノノモノナリト其大主意ヲ教誨セシムルハ必要ナレトモ
直接ニ兒童ニ強フル一事ハ深ク謹マサルヘカラス
次ニ行ハントスルハ新聞豫約媒介。此ハ取モ直サス郵便局自ラ
新聞賣捌所トナルナリ今何故ニカクマテ民間ノ事業ニ干渉ス
ルヤト云フニ蓋シ智識ヲ公衆ニ普及スルハ可成平等ナラサル
ヘカラステフ國家的觀念ヨリ起レルナリ殊ニ新聞紙ノ如ク政
治上ノ智識ヲ社會ニ擴ムルモノハ最モ平等ヲ期スルコト實ニ
國家ノ職務ナリトス故ニ若シ之ヲ新聞社自由ノ營業ニ放任シ

尙ホ今日ノ有様ニ鑑ミレハ新聞ノ賣高ハ其新聞社ノ良否ヨリ
カ寧ロ其營業者取引ノ巧拙ニヨリテ其多ク行ハル、ト否トノ
差別アル傾勢アリ且ツ日本今日ノ場合ニ於テハ政黨政派ノ關
係ヨリシテ或ル新聞ハ多ク行ハレ或ル新聞ハ少シト云フノ事
實アリ要スルニ是等ハ所謂智識ヲ平等ニ配布スルノ主義ニ背
クモノト謂フヘシ故ニ歐州各國ハ近來新聞媒介ヲ郵便局ノ手
ニ執リテ行ヒ來レリ而シテ其最モヨク行ハレツ、アルハ獨逸
ト墺地利ナリ其他白耳義佛蘭西ノ如キ之ヲ行フト雖モ未ダ獨
逸ノ如クナス然ラハ何故ニ獨逸兩國ニハ新聞發送ヲ郵便ノ專
業トスルコト恰モ我信書ノ如クナルヤト謂ハ、其趣旨實ニ右
ニ述ヘシ如クニシテ其内。新聞社ヨリ三里以内若クハ二里以内
ハ新聞社ヨリ直接ニ配達スルコトヲ得ルモ其他ハ一切郵便ニ
依ラサルヲ得ストスルカ故ニ十分其目的ヲ達シ居レルナリ故
ニ將來之ヲ開設スルノ場合ニハ勉メテ此法ニ據ラントス尤是
ハ法律トシテ提出シ以テ議會ノ協賛ヲ經サレバ實行シ得サル
カ故ニ他日諸君カ官報若クハ新聞上ニテ該法案カ議會ニ提出

セテノ議會カ協賛スルヤ否ヤナ見ルニ至ルノ覺悟アラソコト
 ナ望ム然レトモ初ノ三項則チ代金取立法。爲替金ノ配達及ヒ切
 手貯金。是等ハ決シテ法律トシテ發布スルヲ要セス勅令省令ヲ
 以テ發布スルカ故ニ政府ノ準備整ヒ。手續ヲ終ヘタラハ順次ニ
 施行スルノ豫定ナリ

抑此郵便事業ハ獨リ我國ニ於テ新事業ナルノミナラス歐洲各
 國ニ於テモ亦其創業甚々遠カラサルナリ即チ和蘭ニ於テ貯金
 事業ヲ開キシハ千八百八十五年又英國ニ於テ小包郵便ヲ設
 ケシハ千八百八十二年即チ今ヨリ十年前ノ事ナリ既ニ如此其
 事業ノ年月猶ホ淺キニ拘ラス其發達進歩シツ、アルコトハ實
 ニ可驚有様ニシテ歐洲各國ニ於テハ或ハ生命保險或ハ火災保
 險ノ如キ事業ヲモ郵便局ノ手ニ取扱ヒ居レリ而シテ其生命保
 險ノ業ヲ最モ好ク取扱ヘルハ英國ナリ加之英國ハ内國徵稅ノ
 一部ヲモ郵便局ニ於テ取扱ヘル狀勢ナレハ將來交通事業ハ果
 シテ何レノ点ニマテ廣大ニ行ハル、ヤ知ルヘカラサルカ如ク
 進歩シツ、アルナリ而シテ我國モ亦既ニ小包郵便ヲ開キ尋イ

テ代金取立法。爲替金配達並ニ切手貯金ヲ開クトセハ新業ハ漸
 次ニ區域ヲ擴メテ取扱ノ物數其他郵便上ノ收入等モ遂ニ何レ
 ニマテ多額ヲ得ルニ至ルヤ圖ルヘカラサルナリ既ニ今日郵便
 ノモノ收入スラ廿六年ノ豫算ハ四百四十五拾萬圓許ニ達シ又貯
 金ノ現在高ハ二千萬圓ヲ下ラサル多額ニ上レリ加フルニ前ニ
 述フル如キ新事業ヲ附加シタラソニハ可驚廣大ナル事業トナ
 ルハ蓋シ一兩年ノ内ニ在ラソ既ニ如此年月ヲ逐フテ廣大トナ
 リ又更ニ新事業ヲ附加セハ物品金錢ノ取扱ヲ爲シ。中ニハ直接
 ニ金錢ヲ取扱ハサルモ價アル物品ノ取扱ヲナスニ至ル是ヲ以
 テ茲ニ郵務上ノ基礎地盤ヲ鞏固ナラシムルコト最モ必要ヲ感
 スルニ至レリ而シテ今此必要ヲ充足スルニ最モ緊要ナルモノ
 ハ遞信省ノ視認スル所實ニ三等局ニ在リ何トナレハ三等局ハ
 全國内。重モナル町村ニ普ク布置シテ現ニ三千七百許モアリ隨
 テ郵務上ノ大半即チ七八分マテハ此三等局ノ手ニ於テ取扱ハ
 ル、ナリ故ニ若シ此三等局ノ基礎ニ十分鞏固タルニアラサ
 ルヨリハ一等局及ヒ二等局カ如何ニ勉勵スルコトアルモ遂ニ

交通ノ業務ヲシテ進歩發達セシムルコト能ハサルナリ
 右等ノ點ニツイテハ政府モ疾ニ注意スル所アリテ現ニ明治廿
 一年勅令第六十六號ヲ以テ三等局長ノ採用規則ヲ定メシモノ
 全ク此趣意ニ他ナラス即チ其第一條ニ其土地ニ居住シ相當ノ
 財産ヲ有スルモノ云々トアリ是ソ郵務上ノ基礎ヲシテ將來ニ
 鞏固ナラシムル最要件ナリト信ス何トナレハ此交通業務ノ發
 達スルト否トハ一ニ信用ノ厚薄ニ關スレハナリ而シテ信用ノ
 成立スル其原因種々ナリト雖モ概シテ其地方ニ居住スレハ人
 民安堵シ財産多ケレハ公衆其取扱ニ安堵ス是蓋シ今日ノ狀勢
 ナリ中ニ或ハ財産少キモ德義堅ク一般ニ厚ク信用ヲ受クルモ
 ノナキコアラスト雖モ現今ハ概スルニ財産ノ多寡ヨク其信用
 ノ厚薄ヲナセリ
 故ニ本年一月、逓信大臣ノ一等局長ヲ召集セラレタル際此三等
 局長ノ採用方法ニ付懇々訓示セラレ特ニ該採用ノ場合ニハ可
 憚ニ意ヲ致シテ。勅令第六十六號ニ適合スルヲ期スヘシト訓示
 セラレタリ且ツ此交通事業ヲ國家的業務トシテ行フ精神ヲ以

テスレハ三等局長諸君ハ實ニ其業務ヲ執行スルニ必要ナル機
 關ニ備ハルナリ故ニ諸君ハ國家行政上最モ必要ナル純然タル
 行政官吏ナリト自信セラレタシ逓信省ニ於テモ勿論其資格ヲ
 以テ諸君ヲ待遇スヘシ是迄ハ三等局長ヲハ半官半民ニ取扱ヒ
 モシ。又諸君自身モ半官民ノ資格ナリト信セラレシヤ知ラスト
 雖モ斯ル事實ニテハ此事業ヲ完全ニ行ヒ得ルモノニアラス故
 ニ逓信省ハ純然タル行政官吏トシテ取扱フヘケレハ善ク其旨
 ナ心得ラレタシ而シテ又純然タル行政官吏トシテ取扱フモ諸
 君ハ各地方ニ於テ財産アリ名望アル者ナレバ出來得ルタケ勉
 メテ諸君ノ名譽ヲ保チ得ヘク計畫スルカ故ニ其點ニハ心ヲ安
 シセラレヨ且ツ是迄ノ三等局ノ規則ハ所謂純然タル行政官吏
 テフ主義ト或ハ撞着スル點モアラン現ニ切手賣下手数料ノ規
 則其他ニモ半官半民カト疑ハシムル點間是有ルヲ覺フ。サレト
 モ是等ハ漸次ニ調査改正シテ其資格ト適合セシムヘキナリ尙
 ホ(念ノタメニ)右ノ如ク行政官吏トナシテ三等局ノ規則ヲ改正
 シ以テ其資格ニ適セシムレハトテ從來行ヒ來レル逓送受負料

及七集配受負料其他切手賣下ノ報酬ニ當リニハ遞信省ハ決シテ客カルコトヲセス即チ決シテ削減スルコトアラサルナ。ノミナラス取扱ノ物數漸ク多額ニ上リ其義務次第ニ重キニ至ルニ從ヒ經濟上許ス限ハ應當ニ報酬スルノ意見ナルカ故ニ其一點モ亦安心セラレタリ

次ニ集配人ハ勉メテ善良ナル者ヲ得ルノ必要ナルコトハ諸君ノ既ニ注意セラル、所ナレハ今事新シク注意ヲ惹クノ必要ナキモ要スルニ集配人ノ善良ナル者ヲ得ルト否トハ大ニ將來郵務上ノ發達進歩ニ關係スルカ故ニ諸君ハ常ニ此注意ヲ怠ルヘカラス然ルニ此善良ナル集配人ヲ得ルニハ其給料ヲ増スヲ要スト云フノ請求出來ルヘシト雖モ其ハ目下ノ經濟上ニ於テ爾他。俸給ノ比例モアレハ強チ例外チ行フコトヲ得ス故ニ遞信省ハ別ニ考案チ有セリ即チ集配人恩給法ヲ設クル事是ナリ乃チ一方ニハ安堵シテ職務ニ服セシムルコトヲナシ一方ニハ將來ノ希望チモ繋キ以テ善良ナル集配人ヲ得ントスルノ方法ヲ取

調へ居レリ而シテ此集配人恩給法ハ既ニ歐州ニ行ハル、カ故ニ其法ヲ移シ來ツテ施行セントス且ツ其施行ノ曉ニハ一等局ニ等局ニ止メスシテ三等局ニモ及ホスノ考案ナリ旁今日ヨリ考慮セラル、所アリテ集配人採用ノ場合ニハ其人ヲ撰ヒテ此恩給ノ典ニ與カルノ人ヲ採用スルノ注意アラソコトヲ願フ

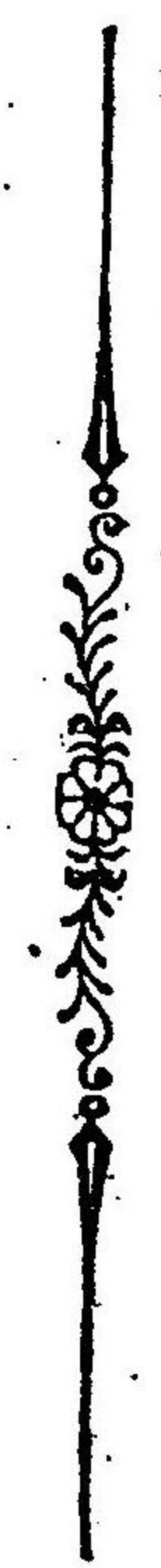
先ニ小包郵便ノ項ニ於テ說漏ラシタル事項アリ(序ニ參考ノタメニ)其ハ先ニ小包郵便ハ英國ニテハ千八百八十二年ニ開カレタリト謂ヒシカ其當時ノ驛遞總官ハホーセツトナリシ此人ノ經濟書ハ日本ニテモ翻譯セラレタル程ニシテ其人ハ自由黨中鋒々タル名士。殊ニ經濟學ニ長シ又兩眼ノ明チ失ヒ乍ラモ下院議員ニ撰擧セラレ後遂ニ内閣ニ列シタル人ナリ而シテ其驛遞總官タリシ時實ニ此小包郵便ヲ開キシナリ即チ如前述ホーセツトハ自由黨ニ在リ經濟學上モ亦自由說ヲ執リ尙ホ其當時英國ニハ一個的會社カ小包ヲ取扱ヒツ、アリシニモ拘ラス斷然政府ノ事業トシテ之ヲ開設セリ而シテ其議院ニ於ケル演說ノ要旨ニ曰ク

凡ソ政府ハ可成民間ノ事業ト競争スルヲ慎マサルヘカラス
トハ余ノ持論ナリ然レトモ或ル事業ノ如キハ民間ノ會社等
ニ放任シテ十分ニ取扱ヒ得サルモノアリ即チ小包ノ如キ是
ナリ夫今日英國ニ於ケル小包ノ有様ハ果シテ如何ナル事實
ナルカ成程鐵道ニ依リテ遞送スル小包ハ其鐵道停車場ノ近
傍地ニ配送スルモノコソ僅ニ便利ナリト雖モ若シ停車場ヲ
距ルコト五六哩若クハ七八哩ノ地ニ向ツテ倫敦ヨリ小包ヲ
差出スニ當リ其會社ニ就キテ幾日ニ到着シ其賃錢ハ何程ナ
リヤト問ハンニ十分確乎タル答ヲナス會社はナキニアラス
ヤ故ニ小包ハ決シテ如此有様ニ安ニスヘカラスナルナリ此ヲ
以テ政府カ此小包郵便ヲ開クハ實ニ交通事業ノ上ニ必要ナ
ルノミナラス政府ノ職務ヲ行フ上ニ於テモ亦最モ必要ナリ
ト謂フノ演說ヲ以テ議院ヲ通過セシメタリ而シテ今之ヲ述フ
ル所以ノモノハ他ナシ英國ハ本家本元ノ自由國。尙ホ且ツホ
セツトハ自由黨中鏘々ノ士ニ自由主義ノ經濟說ヲ以テ有名
ナル人乍ラモ彼演說ヲ以テ遂ニ小包郵便ヲ開クニ至リタルコ

ト一ニハ歐洲ニ於テ政治經濟上ノ方針ハ如何ナル變遷ヲナシ
ツ、アルカヲ顯ハシ一ニハ今日小包郵便ヲ開クハ民間會社ノ
事業ヲ奪フモノナリト竊ニ擬議スル者モアリ況ヤ政治經濟ノ
舊學說ヲノミ讀得タル人ハ政府ノ干渉過甚ナリト謂ハンモ知
ルヘカラサルカ故ニ又其注意ニモ供セントスルニアリ
終ニ臨ンテ諸君ノ厚意ヲ謝シ且ツ將來益慎マレダキ一事ヲ述
ヘン他事ナラス大凡交通事業ニ屬スル官吏ハ十分ニ政黨派
ノ關係ヲ絶タサルヘカラスナルノ必要アルコト是ナリ諸君ハ本
年總選舉ノ當時前遞信大臣ノ訓令ヲ恪守シテ敢テ關係セラレ
サリシコト諸君ニ對シテ深ク謝スル所且ツ遞信大臣ノ満足セ
ラレシノミナラス實ニ遞信業務ノ上ニ一層ノ光輝ヲ添ヘタリ
ト謂フヘシ諸君ハ將來益此主義ヲ守リテ其局員集配人ニ至ル
マテ總テ政黨派ノ關係ヲ絶ツヘク戒飭アラシムコトヲ望ム
尙ホ此交通事業ニ屬スル官吏カ政黨派ノ關係ヲ絶ツハ實ニ
我國ノミナラス即チ英國ニ於テハ該官吏ニ選被選權ヲ與ヘス
且ツ遞送人ニ向ツテモ嚴重ニ關係ヲ絶ツヘキヲ戒ム又米國ノ

如キ佛蘭西ノ如キ共和國ノ大統領ハ時々嚴重ナル訓令ヲ出シ
 此關係ヲ戒メタリ是其交通事業ヲ取扱フ官吏ハ嚴正中立ノ地
 位ニ立タサルヘカラサル自然ノ理法ナルニ由ル若シタトヘハ
 或ル局長ハ自由黨ニ屬ストセンカ自由黨員ハ是カ取扱ニ満足
 スヘキモ他國民協會ノ人ノ如キハ自己ヨリ發送スル信書ノ秘
 密ヲ保護スルヤ否ヤヲ疑ヒテ遂ニハ猜忌嫉妬ヲ生シ大ニ交通
 事業ノ信用ヲ害スルコト明カナリソレ如此ニシテ一タヒ信用
 ナ害シタラソニハ又容易ニ恢復スルコトヲ得ス是實ニ國家的
 業務ヲ行フ上ニ於テ大ナル妨害ナルカ故彼米佛等ノ諸國ニ於
 テモ大ニ戒飭スルアル所以ナリ惟フニ日本今日ノ有様ニテハ
 前遞信大臣訓令ノ趣旨ヲ遵守シテ嚴正中立ヲ守ラレソコトヲ
 希望ス且ツ其政黨政派ノ關係ハ唯其黨派ノ懇親會等總テノ運
 動上ニ關係セサルノミナラス黨派ニ關スル出金モ一切謝絶シ
 テ嚴正中立ヲ守ラレタシ元ヨリ今日ニ至ルマテヨク其趣旨ヲ
 遵守セラレタレトモ將來ハ尙ホ一層ナラサルヘカラス
 此他爲替並ニ貯金ノ事等ニツキ一二述ヘタキ所アルモ幸ヒ草

間爲替貯金管理所長ノ參會アルヲ以テ同氏ニ讓ルヘケレハ聽
 取ラレタシ尙ホ以上ノ說話中不審ノ廉等モアラバ十分ニ質サ
 ルヘシ慰懃ニ答フル所アラシ



章間爲替貯金管理所長演說ノ大意

爲替貯金ハ一個人ニ對シテ貴重ナル勿論ナレトモ尙ホ更ニ重大ナル關係ヲ有スル所アリ即チ斯事業カ國家ノ人ニ及ホス勢力ノ極メテ廣大ナル一事是ナリ今之ヲ知ラント欲セハ試ニ其統計ノ示ス所ヲ看ヨ去ル明治廿四年ニ取扱ヒタル爲替ハ二千萬圓以上ニシテ一ヶ月百七十萬圓許ノ割合ナリ就中金融活潑ノ地ニハ二百万圓ノ拂込アリシト謂フ又其爲替券ノ數ハ一箇年二百五十萬枚ニシテ一箇月二十萬以上ノ口數ニ當タリ又之ヲ人口ニ割當ツレハ千人ニ付六十五ノ割合トナル次ニ貯金ノ預高ハ今ヨリ一二箇月前ニ凡ソ二千五百六十萬圓アリテ其一箇年ノ拂高ハ凡ソ千萬圓ノ預高ノ超過スルコト毎年大凡百万圓ナリトス故ニ此割合ニテ推行カハ十箇年ノ後ニハ預高千万圓ヲ增加スルニ至ルヘシ貯金上別ニ獎勵法ナキ今日スラ現ニ如此ナルカ故ニ更ニ進シテ一般獎勵法ヲ設ケタラシムハ著シキ増加ヲ觀ルニ至ルヤ必然ナリト信ス

而シテ此二千万圓ヲ爲替カ日本ノ經濟社界ニ及ホス影響ハ

實ニ大ナルモノトス尤他ニ銀行爲替アリテ莫大ノ賣買取引モ一文ノ正金ヲ運搬スルコトナクシテ自由ニ運轉スルヲ得ヘシト雖モ此ハ唯繁華ナル土地ノ間ニミ行ハル、モノナルカ故ニ若シ山間僻地ノ者ニシテ或ル必要ヨリ爲替ヲ取組マントスルニ復ヒ封建ノ古ニ返ルカ如キコトアリトセハ先ツ銀行所在ノ地ニマテ正金ヲ運送スルノ危険ヲ犯サ、ルヘカラス且ツ銀行爲替ノ定規トシテ一圓モ百圓モ殆ト同一ナル爲替料ヲ拂ヒ茲ニ稍ク取組ムコトヲ得ルナリ此ニ於テカ郵便爲替ハ其一度ノ金高ハ少額ニシテ銀行爲替ニ及ハスト雖モ都鄙ノ差別ナク直ニ取組ムコトヲ得ルノ至大便利ヲ有セリ是實ニ經濟上著シキ勢力アル所以ナリトス

英國ノ經濟學者アダムスミスハ彼紙幣アルハ恰モ空中ニ道路ヲ作り得タルカ如シ云々ト説ケ、實ニ斯說ノ如ク金銀ヲ代表スル紙幣ヲ有スルヤ其金銀ハ又他ノ用途ニ供セラル、ノ便アリ加フルニ信用手形及ヒ郵便爲替等アリテ正金ヲ運送スルノ手數ト危険トヲ省キテ安全ニ運轉スルコトヲ得、故ニ爲替貯金

取扱ノ上ニ於テモ過超金ハ現金遞送ヲ爲シ來リタレトモ漸次
 進歩シタル曉ニハ今日ノ如ク現金ヲ運送セシテ唯、決算ヲ爲
 セハ足ルニ至ラン」
 抑貯金ノ事アルハ主トシテ國民ノ多數ヲ占ムル貧民ヲシテ相
 應ノ金錢ヲ貯蓄セシムルカタナリ而シテ國家ノ基礎ヨク鞏
 固ナルヲ得ルハ學者多ク。豪富家アルニ是依ラスシテ實ニ此多
 數貧民カ相應ノ貯蓄ヲ有シテ教育普及シ、躬行齊ヒ。品位優リ。自
 然ニ其信用ヲ厚クスルアルニ過キタルコトアラサルナリ然レハ
 則チ貯金モ亦國家ニ對シテ重大ナル勢力ヲ有スルコト明カナ
 ルカ故ニ諸君カ日々取扱ヘル一枚一口ノ爲替貯金モ亦實ニ重
 大ナリトシテ取扱上一層ノ注意ヲ加ヘテラレタシ
 且ツ又其取扱ヲナスニハ規則順序ヲ詳ニシテ練熟ヲ勉メ益敏
 捷ノ運轉ヲ期スヘシ然ラサレハタトヘイカナル良法善政アル
 モ決シテ其効果ヲ全收スルコト能ハザルヘシ便チ其四千許ノ
 當局者カヨク敏活ニ働クト否トハ當事業上ニ至大ノ影響ヲ與
 フルコト勿論ニシテ殊ニ郵務局長ノ談話ノ如ク將來事業ノ新

設等アリトセハ彌益敏活ナラシムコトヲ要ス
 從來爲替貯金ノ方法タル大低器械的ノ仕組ナリシ即チ甲乙授
 受ノ際ニハ其受取印判ヲ要スル等何事ニ拘ラス器械的ニ證據
 物ヲ要セリ此ハ固ヨリ堅固ニシテ錯誤ナカラシムル仕組ナレ
 トモ將來遂ニ此ニ安ソスヘカラサルナリ惟フニ從來ハ社界幼
 稚ナルヨリシテ自ラ證據物ヲ取ルノ必要アリシカ是ヨリ更ニ
 進歩セシ曉ニハ勿論證據ヲ要ストスルモ主トシテ信用ニ依ラ
 サルヘカラス又爲替ノ如キモ今一層擴張シタラシムハ政府ノ
 責任ヲ以テタトヘハ甲ヨリ乙ニ送ル場合ニ當リ配達局ハ到着
 簿ニヨリ集配人ヲシテ受取人ノ家々ニ持行カシムヘシ故ニ集
 配人ハ各戸ノ事實ヲ細密ニ了知セシモノナラサルヘカラス乃
 チ集配人ハ其受取人ノ面貌等ヲ熟知セルカ故ニ一々受取証ヲ
 取ラサルモ又爲替券ニ備ハルヘキ事項ニ缺點アルモ其本人ニ
 相違ナシト視認スル以上ハ躊躇ナク交付スルノ仕組ニシテ既
 ニ歐洲ニ行ハル、所ナリ然ラハ則チ我國ニ於テモ今直ニ之ニ
 倣フテ可ナルカ如キモ全體ノ信用未ダ進マサルカ故ニ將來漸

次ニ行フヲ可ナリトス而シテ彼集配人ノ善良ナル者ヲ要スル
 實ニ之カダメナリトス
 此他爲替貯金ノ資金カ善ク整理セラル、ト否トハ中央ノ爲替
 貯金管理所ニ向ツテ大ナル影響ヲ及ホスモノナレハ此資金ニ
 シテ支拂ニ不足スルコトアルヲ如キハ元ヨリ不可ナレトモ又
 其用無キニ常ニ多額ノ金ヲ備フルモ亦不用ノ事ナリトス故ニ
 是等ノ整理其宜ヲ得ルコト及ヒ貯金ノ秘密ヲ保護スルコト信
 書ノ如クナルヘキ等モ亦甚々緊要事ナリトス
 既ニ如前述爲替貯金ハ重大事業ナルニ拘ラス此經濟問題カ社
 界ニ注意セラレサルハ全ク彼政治問題ニ壓セラレタルカダメ
 ナリト雖モ漸次適當ノ注意ヲ惹クニ至ルノ豫兆既ニ今日ニ萌
 呈セリ故ニ他日。社界ノ問題トナルニ及ヒテ指摘非難ヲ蒙ルノ
 過失ナカラシカダメ今ヨリ豫メ準備スル所ナカルヘカラス
 要スルニ諸君ハ此爲替ナリ殊ニ貯金事業カ大體ニ國家ノ經濟
 上ニ重大ノ關係アルモノナルコトヲ會得セラレテ十分ノ注意
 ナ加ヘ敏捷熱心ニ從事アラシム一偏ニ懇願ニ堪ヘザルナリ云々

古澤郵務局長ノ談話

郵務上。研究會ノ設アルハ最モ必要ノ事ナリトス然レトモ從來
 ハ何レモ有志家ノ設立ニカ、リテ遞信省ヨリ命令的ニ開キシ
 モノニアラス然ルニ今日以後郵便事業ヲ擴張スルニ於テハ一
 監督區内ニ命令的郵務會ノ組織アルヲ實ニ必要ナリト視認ス
 而シテ其規則ノ如キハ取調ヘタル上明春必ス發布シテ毎年一
 度監督局所在ノ地ニ開會シ監督局ヨリハ勿論。本省ヨリモ相當
 ノ官吏ヲ派シテ事業ノ方針ヲ示シ又三等局長モ亦實際ノ便否
 等ニ付遠慮ナク意見ヲ提出スルノ仕組トナサントス
 又今回ノ巡廻中。感スル所ハ或ル監督區ノ三等局長ト他監督區
 ノ三等局長ト相會シ郵務上ノ研究ヲナス方法ヲ設クルモ亦實
 ニ必要ナル一事是ナリ其方法ハ各郵務會ニ於テ委員ヲ選ヒ其
 二。三若クハ五。六ノ監督區ノ委員カ一。二又ハ三年毎ニ一度ツ、
 所ヲ定メテ集會スルコトヲセハ彼是ノ三等局長ハ公務ニ從事
 スル上ニ於テ自然ニ競争セサルヲ得サルニ至ル故ニ郵務ノ改
 良上ニ必要ナリト確認スルトキハ此法モ亦施行セントス

又一、二、三等局ナル等級ニヨリテ名ヲ付スルハ不可ナルカ故ニ
 是亦近ク改正スヘシ余曾テ歐州ニ於ケル三等局長ノ地位ヲ聞
 クニ多クハ貴族豪族カ交通業務ノヨク一般人民ニ便利々益ヲ
 與フルモノナルヲ喜ヒ大ニ之ヲ名譽ナリトシテ其事務ヲ取扱
 ヘリト謂フ願クハ諸君モ亦之ト精神ヲ同シクシ以テ此業務ノ
 タメニ盡スコトヲセヨ

先刻ノ説話中。諸君ハ即チ國家行政上ノ必要ナル官吏ナリト述
 ヘシハ全ク他ノ官吏ト同シク一ニ 天皇陛下ノ大權ニヨツ
 テ任免セラル、モノナルカ故ナリ然ルニ従前ハ半官半民ノ資
 格ナリト見做サレタルカタメニ或ル地方ニ於テハ町村人民ノ
 撰舉ニ依リテ三等局長ヲ任免スルカ如キ誤謬ヲ生シタルアリ
 ト聞ク然レトモ三等局長ヲ採用スルニハ監督局長ハ其適當ナ
 ル者ヲ認定シテ遞信大臣ニ上申シ大臣ハ之ヲ上奏シテ茲ニ
 陛下ノ大權ヲ以テ任免セラル、モノナレハ他。行政官吏ト同
 一ナルコト勿論ナリトス尤三等局長ハ各地方ニ於テ財産アリ
 名望アル人々ナレハ自然ニ他ノ官吏ト同様ナラサル所アルハ

事實ナリ即チ其採用規則アルモ之ヲ他ニ比シテ範圍廣シ是其
 他ト異ナル点ナレトモ其行政官吏タルニ於テハ更ニ差異アル
 コトナキナリ

又公務取扱ノ上ニ於テハ町肆親切ヲ旨トシ特ニ老幼ノ者ニハ
 懇ロニ説示シテ便利ヲ與ヘサルヘカラスト雖モ一方。國家行政
 上ノ必要ニ備ハル官吏ナルカ故ニ縣廳。郡役所。町村役場及ヒ警
 察署等ニ對シテハ同一官吏ノ資格ヲ以テ相互ノ應接ヲナスヘ
 シ然ラサレハ遂ニ人ヲシテ三等局長ノ地位ヲ誤了セシムルニ
 至ラン現ニ過キツル頃口或ル縣下某所ニ於テ電信ヲ設クルニ
 有志家ノ献金ヨリ成立スヘキ豫定ナリシカ實地開設セントス
 ルニ臨ミテ献金整約セサルヨリ郡長ハ該局長ヲ召喚シテ言ヘ
 シク郵便局ノ如キハ其町ノ共有ナルカ故ニ町内重モナル五六
 ノ人ヲシテ局長ノ任ヲ交代セシムルコト、シ以テ其人々ヨリ
 出金セシムヘシト此ニ於テ該局長ハ直チニ其旨ヲ監督局長ニ
 上申シ監督局長ハ實地ヲ調査シテ事實相違ナキ條分明セシカ
 ハ遞信大臣ニ上申スル所アリタリト云フ是等ハ實ニ行政組織

ノ何タルヲ知ラサル以テノ外ノ不都合ト謂ハサルヘカラス既
ニ如此人民ノ間ノミナラス官衙ト雖モカ、ル謬想ヲ生スル免
カレ難キカ故ニ諸君ハ切ニ考慮シオカルヘキナリ云々

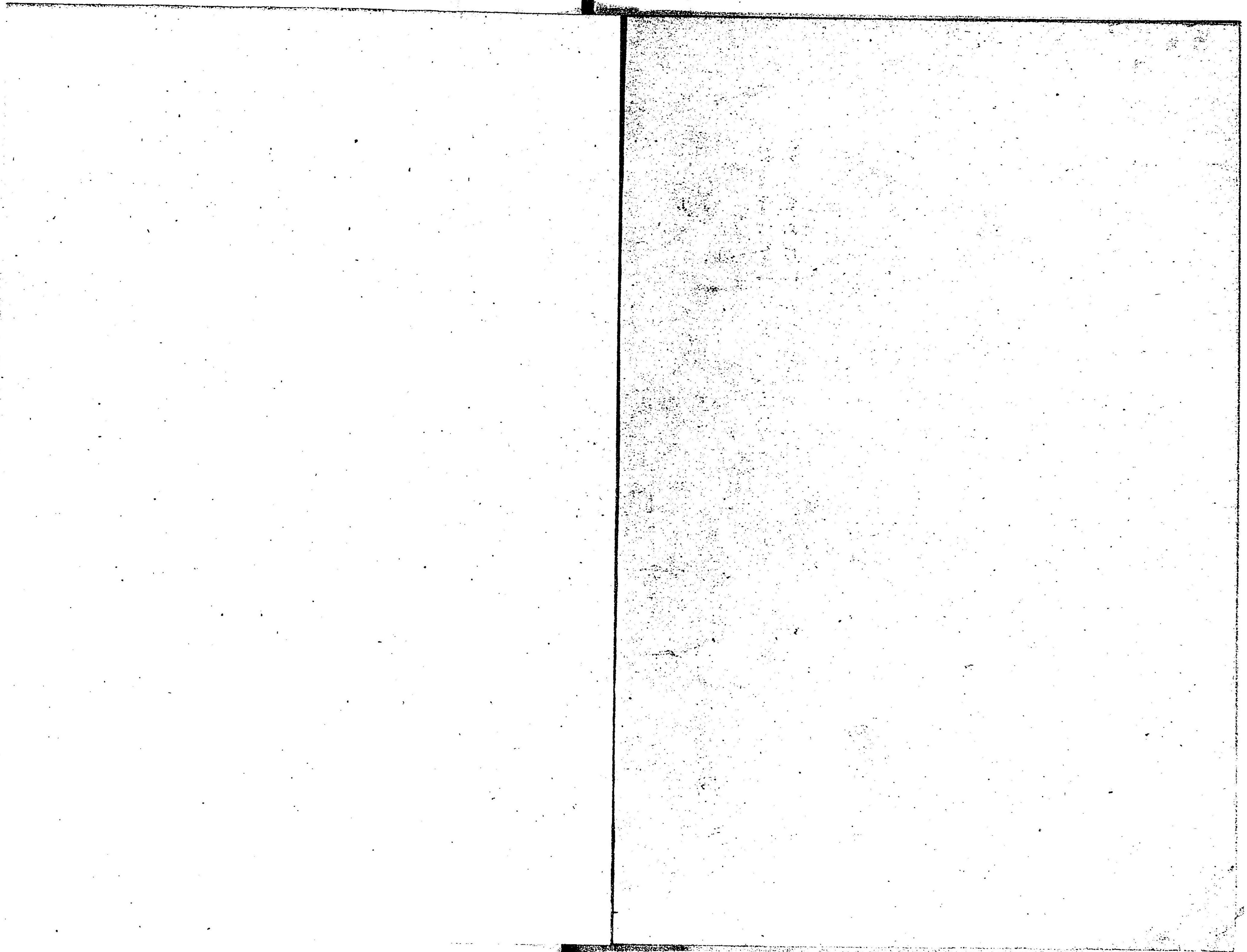
6/36

小松島郵便電信局

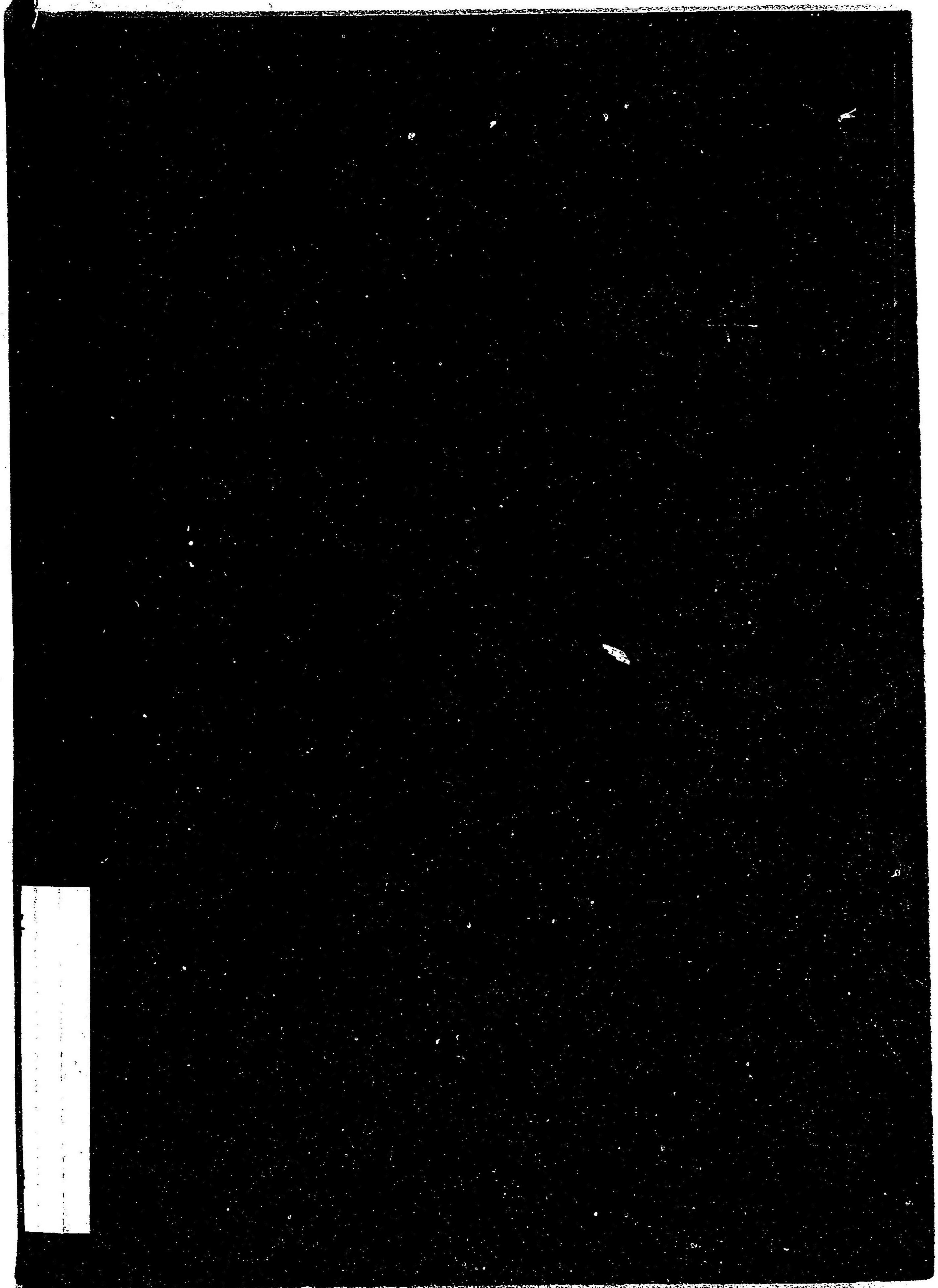
明治廿六年一月廿八日印刷
明治廿六年一月廿八日出版

徳島縣徳島市大字富田浦町
二千八百七十九番屋敷

印刷者 西條壽太郎



法
41



Vertical text on a small white label, likely a library or archival identifier. The text is too small and oriented vertically to be legible.